# ◆森哲夫市長へのお願い書信◆

２０１９年(令和元年)６月１４日

三田市長
　　森 哲男 様

三田市の図書館を考える市民の会
代表世話人・小林　純生

担当課督促についてのお願い

日頃、三田市政にご尽力の段、一市民として心から御礼を申し上げます。また、市長選が近づき何かとご多用の日々と拝察します。ご健康に留意してご活躍くださいますよう、お祈り申し上げます。

さて、わたくしは「三田市の図書館を考える市民の会」代表世話人を務める小林純生と申します。本日はお願いの件で書面を差し上げます。迅速にお取り計らいいただきますようお願い申し上げます。

わたくしたち「市民の会」は、去る２０１９年(平成３１年)３月２９日付で、三田市立図書館館長・平岡一仁氏及び三田市文化スポーツ課課長・横溝朋之氏宛、「図書館年報データの数値についての再質問書」を送付しました。詳しくは文化スポーツ課に問い合わせていただきたく思いますが、この再質問書は、２０１８年(平成３０年)１１月１２日付で送付し、２０１９年(平成３１年)３月１８日付で届いた回答に対する再質問書です。
最初の質問内容は、２０１３年(平成２５年)度から２０１７年(平成２９年)度５年間の、三田市立図書館年報を調べた結果生じた疑問点について質問をしています。ＴＲＣが指定管理者になった２０１４年(平成２６年)度以降のデータに多くの疑問が生じました。直営時代の図書館年報とデータの計算方法が変更されたのではないか、あるいは集計方法が間違っているのではないか、という疑問点を、根拠を示してかなり詳細に挙げています。しかし、それに対する２０１９年(平成３１年)３月１８日付の回答は、当事者の図書館長ではなく文化スポーツ課名によるもので、その内容は極めて不親切で分かりにくいものでした。

そこで、わたくしたちは改めて再質問書を提出しました。しかし、送付から既に２か月

半が経過しています。最初の回答をいただくのにも４か月以上の時間がかかっています。その挙句が木で鼻を括ったような回答でした。

三田市は市民の疑問・質問について、「速やかに、丁寧に、回答する」という方針はお取りになっていなのでしょうか。成熟社会とは市民と真っ直ぐに向き合って、対話を進めながら市政を行う、ということではないのでしょうか。わたくたちが図書館年報を読んで感じた疑問点は、取るに足らないこととお考えでしょうか。わたしたちの質問内容は、事実に関わることで回答に長時間を要する類のことではないと考えています。どうしてこんなに時間がかかるのでしょうか。まったく理解できません。最初の質問の際は、文化スポーツ課に督促の文書を送りましたが、今回は二度目ですので市政の最高責任者である森市長宛といたしました。

森市長におかれましては、三田市の図書館を考える市民の会に対し、一日も早く丁寧に回答するよう、三田市立図書館及び文化スポーツ課の責任者に督促していただくようお願いします。最初の回答内容をご確認の上、真の意味で「丁寧な内容」にするようご指示ください。遅くとも６月末までには市長のお返事をいただきたく思います。そして、再質問書に対する回答は、どんなに遅くとも市長選告示の７月１４日より前にいただけますよう、担当責任者に指示してくださるようお願い申し上げます。

なお、ご存知とは思いますが、図書館に関連する当会と三田市とのやり取りは、そのまま当会のホームページで公開しています。この書面も後日、そのようにいたします。

以上、公務ご多用の折り誠に恐縮ですが、よろしくご配慮いただきますようお願い申し上げます。